

県教連 親睦球技大会 開催



発行 山口県教職員団体連合会
 代表者 小坂 朝之
 編集人 山本 純
 山口市大手町教育会館内
 電話 (083) 922-2049番
 FAX (083) 921-0907番
 E-mail: kyoren@orange.ocn.ne.jp
 ホームページ http://www.kenkyouren.com



10月31日(土)、山口県セミナーパークと山口リフレッシュユバークにおいて「県教連親睦球技大会」を開催しました。県内各地より合計で300名を超える仲間が集まりました。無心にボールを追いかけ、気合いを込めてボールを打ち込み、チームの仲間と声を掛け合いながら気持ちのよい汗を流しました。ソフトバレーボールの部には21チームの参加がありました。「来るよ。来るよ。」「ナイスアタック!」「気にしない。気にしない。楽しもう。」など体育館の中には、仲間を応援する声、歓声、そして素晴らしいプレーに送られる拍手や楽しそうな笑い声が響いていました。ソフトボールの部には14チームの参加がありました。さわやかな秋空のもと、土にまみれながら全

カプレーで大いに盛り上がりました。「ナイスキャッチ。」「ピッチャー落ち着いて。楽にいこう。」「自分の好きな球狙って。」と声を掛け合い、チームの仲間、そして対戦相手と共に白球を追いかけました。大きな事故やケガもなく、参加された皆さんが楽しく親睦を図れたのではないかと思います。また、大会当日には、両会場合わせて約100名の未加入者も参加していましたが、新たに当日2名の方が県教連の仲間に加わりました。また、自主運営で終日行う初めての大会となり、ソフトバレーボールの部と合わせて、参加者全員で作り上げた「県教連親睦球技大会」となりました。



Aブロック 下関A



Bブロック 防府



優勝チーム紹介



Aブロック 山口



Bブロック 周南C



Cブロック 下関B

第3回親学推進セミナー



参加者に熱く語る松居氏

11月21日(日)山口県セミナーパークにおいて「第3回親学推進セミナー」と「第4回親守詩山口大会」の入賞作品紹介と入賞者の表彰を行いました。

セミナーでは、講師の松居和氏より「親心を育む」と題してご講演をいただきました。ご自身の経験や、数値データを基にした内容、そして、随所にユーモアをちりばめた軽快なトークに引き込まれていきました。

0歳〜3歳の子育てが、誰にとっても重要なのか、親が親になるために必要なものは何なのかなどたくさん考えさせられました。講演の中で印象的だったのは、「0歳児がしゃべれないことには意味がある」、「相手の気持ちを理解しようとしたときに人は幸せになれる」です。

また、近年、保育園が子育て代行業のようになっている現状や、その現状を憂いて良い保育士がどんどん辞めているという問題など、危機的な状況が迫っていると話され、保育園での保護者の「日保育士体験」を紹介されました。この取組を通して、親への働きかけ、特に父親が幼児と関わることの重要性について話され、参加者は大きく頷きながら聞き入っていました。終始温かい笑いに包まれながらも、自分の子育て、そして、保育や教育について考えさせられる有意義な時間となりました。

親守詩山口大会では、短作文の部189点、定型詩の部105点、連歌の部365点と本当に多くの応募がありました。その中から、優秀作品を紹介し、表彰を行いました。各部の優秀作品は、親守詩全国大会に出品されます。



作品紹介の後に表彰される入賞者